

こんなことが困った！	行政の役割	地域の役割	協力隊の役割
<b>① 行政の中での受け入れ態勢ができていますか？</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>× 行政の人(特に他部署の人)が「協力隊って何する人？」かわかっていない。</li> <li>× 協力隊事業に関係する他部署との連携がとれていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 行政として、協力隊導入目的・意義を明確化。</li> <li><input type="checkbox"/> 他部署に対しても説明、連携を確保する。</li> <li><input type="checkbox"/> 行政の他部署の中にも協力隊に協力してくれる人を探す。(受入地域在住者、ボランティアサークルなど)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 自分からも行政に出向き、状況を報告する。</li> </ul>
<b>② 協力隊をどのように配置するかまっていますか？</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>× 地域の組織・人との連携・意思疎通ができていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> (地域との調整)地域のキーマンと普段から話ができる所に協力隊を配置する。(「協力隊だけ」は避ける)</li> <li><input type="checkbox"/> 協力隊が一人にならないよう、行政の中でも相談役・パートナーをつける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 協力隊と地域組織・地域のキーマンが普段から話をできる、協力し合える配置にする。</li> <li><input type="checkbox"/> 仕事の世話役を決めておく。</li> </ul>	
<b>③ 仕事内容のすりあわせができていますか？</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>× 来てみたら、募集の時に聞いていた内容と違った。</li> <li>× 着任当初、何をしていたかわからなかった。</li> <li>× 地域外の視察・交流が業務に認められない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 着任後すぐ、行政が中に入って、業務の内容、やり方を説明する。</li> <li><input type="checkbox"/> 行政の仕事の仕方を説明しておく。</li> <li><input type="checkbox"/> (地域との調整)最初の3か月分位は仕事の目途をつけておく。</li> <li><input type="checkbox"/> 協力隊が定住するためのネタ探しや、隊員提案の仕事の取り扱いを話し合う。必要なら業務に幅を持たせ、予算を確保。地域側の理解を図る。</li> <li><input type="checkbox"/> 地域・協力隊・行政でのビジョン・計画の見直し・摺合せを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 期待する仕事内容を具体的に考えておく。</li> <li><input type="checkbox"/> 着任後、希望を聞きながら、仕事内容を再検討する。</li> <li><input type="checkbox"/> 協力隊の仕事に対し、柔軟性を持って考え、なるべく幅を広げて考えてみる。</li> <li><input type="checkbox"/> 所属地域・組織で定期的に意思疎通の場(ミーティング)を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 着任前に、仕事内容をよく確認する。</li> <li><input type="checkbox"/> 着任前に、自分ができうる事をリストアップしてみる。</li> <li><input type="checkbox"/> 地域外等の活動を希望するときは、地域おこし、定住の上での意味を説明・理解を図る。</li> </ul>
<b>④ 地域の主体性があるか？</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>× 地域の人協力隊のことを知らない。</li> <li>× 「便利屋さん」と思っている。</li> <li>× [2～3年目]協力隊がやった仕事は、隊員がいなくなったら誰もやらなさそう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> (地域との調整)説明を必ず行い、協力隊の意義を理解してもらう。</li> <li><input type="checkbox"/> (地域との調整)地域が協力隊を受入れる目的の明確化や、地域の未来像の中に協力隊を位置づけて、地域の段階に合わせた目標設定を支援する。</li> <li><input type="checkbox"/> (地域との調整)継続的に地域を訪れ、地域の人意識を確認する。</li> <li><input type="checkbox"/> (地域との調整)地域内で、4年後の展開をどうするかを考えるよう支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 「地域おこし協力隊」の意義を理解し、受入組織・地域のリーダーが住民に説明する。</li> <li><input type="checkbox"/> 地域の未来像の中に協力隊を位置づけ、3年間の目標を設定する。</li> <li><input type="checkbox"/> 仕事を協力隊まかせにしない。</li> <li><input type="checkbox"/> 協力隊事業の次の期間について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 多くの人と話をして、地域の実情・ここで何が出来るか・仲間はいるかを試行錯誤する。</li> </ul>

## こんなことが困った！

## 行政の役割

## 地域の役割

## 協力隊の役割

### ⑤ 地域との関係づくりは大丈夫か？

- × 地域と都会の常識の違いが理解してもらえていない。
- × 地域の方に紹介してもらえない。
- × どうやって出て行けば良いかわからない。

- (地域との調整) 協力隊着任前に、都会と地域の常識の違い等、地域へレクチャーする。
- キーマンへの紹介を行う。
- 最初の3か月位は、地域の調査等を業務として位置付けて地域の声を聞けるようにする。

- 世話役の方が、常会等で地域内に紹介する。(「地域おこし協力隊」の意義も含めて)
- 祭りやサークル活動など地域の活動に誘う。

- 最初は少し、発言を我慢する。
- 地域の人・組織などを図式化してみる。
- 業務の中で工夫して地域に出向く。
- サークル活動なども、声がかかれれば積極的に出向く。

### ⑥ 生活条件が整っているか？

- × 車のことを考えていない。
- × 家のことを考えていない。
- × 地域の暮らしに関する情報が無い。
- × 地域に頼れる人/相談できる人がいない。

- 応募要件に、自動車免許を必須にする。
- 公用の車の対応を検討。
- (地域との調整) 地域内に住まいを確保するよう要請。
- 家の修繕はすませておく。
- (地域への要請) 習慣・文化・行事などを説明する世話役を用意。
- (地域への要請) 仕事のOJT役を用意。
- (地域への要請) 同じ世代の仲間がいるか？

- 地域内に住まいを確保する。
- 家の掃除や簡単な修繕などは、できる範囲で、なるべく住民たちの力で行う。
- 地域の暮らしの中で、隊員にやってほしいこと等を明確にする。
- 生活の世話役を決める。
- 仕事のOJT役を決める。
- 同じ世代の仲間との橋渡しをする。

- 情報収集。HPでわからないことは行政や先輩移住者への質問、現地訪問など多方面から情報を集める。

### ⑦ 定住の見通しが共有できているか？

- × 「こんな形で定住ができる」という見通しが無い・実現性が低い
- × [2～3年目]定住の相談をできる人・一緒に考えてくれる人がいない

- 協力隊の仕事を通じて、スキルを身に付け、仕事につなげるステップができるようにプログラムを考える。
- 定住のための情報集め・人脈構築・能力獲得の時間を確保する。
- 隊員の希望を聞き、適切な相談先を紹介する。

- 協力隊が定住希望であれば、定住できるような体制を作る(家・農地のあっせんや就農支援金が取得できるような体制づくりなど)

- 着任前に、3年後の姿をイメージする。
- 着任後も、定住に必要なになりそうな研修や資格取得を積極的に行う。
- 2年目後半くらいからキャリアプランをたてて、必要な活動を始める(スキルアップ・就職活動または起業準備)